

第4章 製 図

4.1 図面作成

- 1 図面は、給水装置計画の技術的表現であり、工事施工の際の基礎であるとともに、給水装置の適切な維持管理のための必須の資料であるので、明確、かつ容易に理解できるものであること。
- 2 図面に使用する表示記号は、次の各項目に示すものとする。

4.2 記入方法

4.2.1 表示記号

図面に使用する表示記号は、表4-1から4-5を標準とする。

[記入例] (管種) (口径) - (延長)
PP φ20 - 1.5

表4-1 給水管の管種記号

管 種	図示記号	管 種	図示記号
ダクタイル鋳鉄管	DIP	鉛管	LP
鋳鉄管	CIP	ポリエチレン管	PP
硬質塩化ビニル管	VP	水道配水用ポリエチレン管	PEP
耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP	架橋ポリエチレン管	XPEP
硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VD	ポリブテン管	PBP
ステンレス鋼管	SSP		







表 4-2 給水用具等の記号

名 称	図 示 記 号	名 称	図 示 記 号
仕 切 弁		管 の 交 差	
止 水 栓		防 護 管	
逆 止 弁		口 径 変 更	
複 式 逆 止 弁		管 種 変 更	
減 圧 逆 止 弁		排 水 栓	
消 火 栓 双 口		メ ー タ ー	
消 火 栓 単 口		バ イ パ ス 付 き メ ー タ ー	
空 気 弁 双 口		栓 ・ キ ャ ッ プ	
受 水 槽		ポ ン プ	
補 助 加 圧 装 置		井 戸 ポ ン プ	
空 気 弁 単 口		ス ト ッ パ ー	
電 気 給 湯 機		ガ ス 給 湯 機	
地 上 式 メ ー タ ー ユ ニ ッ ト	<p>地上式メーターユニット メーター口径 mm 個 製造業者名、形式名</p>	複 式 メ ー タ ー ボ ッ ク ス	<p>複式メーターユニット メーター口径 mm 個 製造業者名、形式名</p>

表 4-3 給水栓類の符号(平面図)




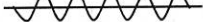
給 水 栓		そ の 他	
混 合 水 栓		ボ ー ル タ ッ プ	
フ ラ ッ シ ュ バ ル ブ		シ ャ ワ ー	
ス プ リ ン ク ラ ー ヘ ッ ド			

表 4-4 給水栓類の符号(立体図)

種別	符号	種別	符号	種別	符号
一般用具 (給水栓類)		シャワーヘッド		フラッシュバルブ	
ボールタップ		その他		スプリンクラー ヘッド	

注：その他の特殊器具については品名を記入すること。

表 4-5 工事別の表示方法

名称	新 設	既 設	撤 去	廃 止
線 別	黒色実線	黒色破線	黒色実線を斜線で消す	実線を波線で消す
記入例				

4.2.2 図面の種類

給水装置工事の計画、施工に際しては、次の図面を作成すること。

- 1 位置図 給水(申込)家屋、付近の状況等の位置を図示したもの。
- 2 平面図 道路及び建築平面図に給水装置及び配水管の位置を図示したもの。
- 3 断面図 平面図で表すことのできない部分を別途詳細に図示したもの。
- 4 立体図 給水管の配管状況等を立体的に図示したもの。

4.2.3 図面の文字

- 1 文字は明確に書き、漢字は楷書とする。
- 2 文章は左横書きとする。

4.2.4 図面の縮尺

- 1 平面図は、縮尺 1/100~1/500 の範囲で作成する。
- 2 縮尺は図面ごとに記入すること。

4.2.5 図面の単位

- 1 給水管及び配水管の口径の単位は mm とし、単位記号はつけない。
- 2 給水管の延長の単位は m とし、単位記号はつけない。
なお、延長は小数第 1 位（少数第 2 位を四捨五入）までとする。

4.3 作図

4.3.1 方位

作図にあたっては必ず方位を記入し、北を上にするを原則とする。

4.3.2 位置図

給水（申込）家屋、施工路線、付近の状況、道路状況及び主要な建物を記入すること。

4.3.3 平面図

- 1 給水栓等給水用具の取付位置
- 2 配水管からの分岐位置、止水栓（仕切弁）、消火栓、及びメーター位置のオフセット（境界から 3 点測定）
- 3 布設する管の管種、口径、延長及び位置
- 4 井戸、工業用水がある場合は、位置等その旨を明記
- 5 道路の種別（舗装種別、幅員、歩車道区分、公道及び私道の区分）
- 6 公私有地、門、塀、出入口、敷地境界線及び隣接関連の水栓（管理コード）番号
- 7 分岐する配水管及び既設給水管等の管種、口径
- 8 その他工事施工上必要とする事項（障害物の表示等）

4.3.4 立体図

立体図は平面で表現することができない配管状況を立体的に表示するもので、通常 45° の角度でわかりやすく作図し、施工する管の種類、口径および延長等を記入すること。

4.3.5 断面図

平面図で表すことのできない部分、及び分岐点からメーターまでに関して、拡大図等により図示すること。なお、本管は分岐点から排水栓末端まで図示すること。

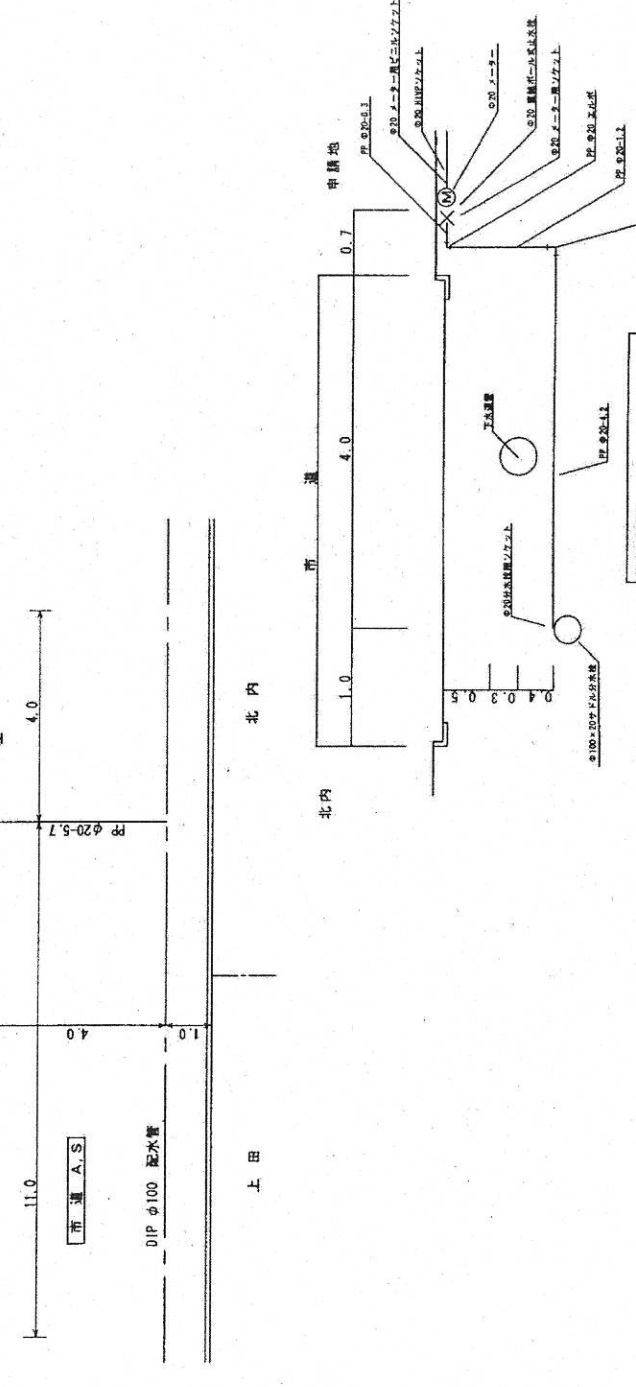
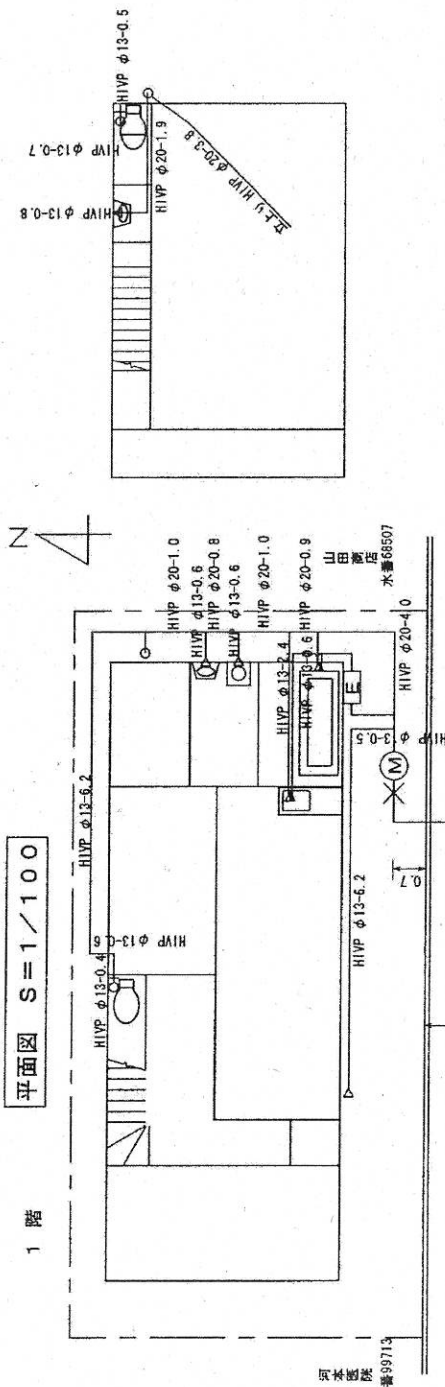
4.3.6 その他

受水槽式給水の場合の図面は、直結給水部分（受水槽まで）と受水槽以下に分けること。

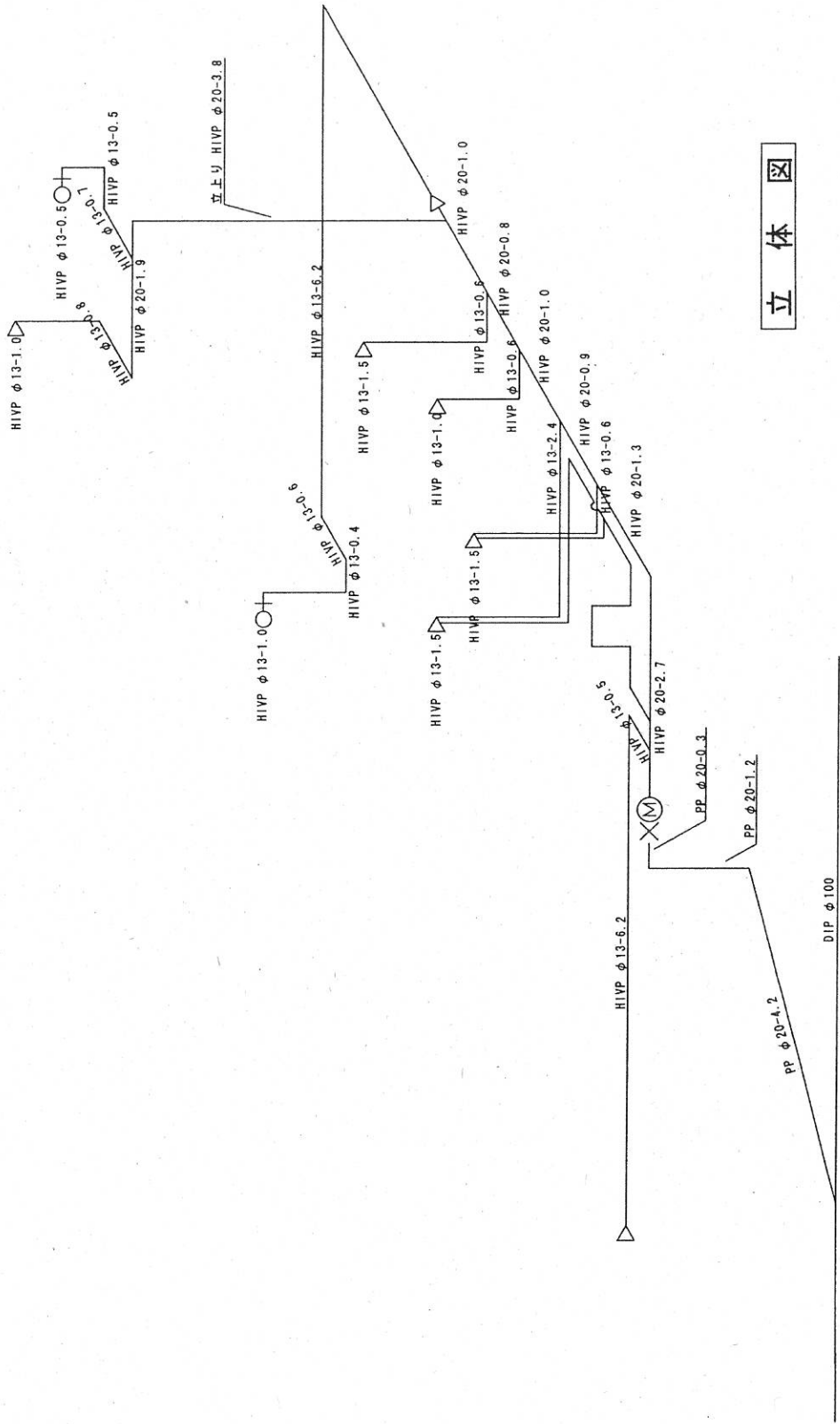
4.4 図面の用紙

申込書及び完成届出書に添付する図面の用紙は、次のとおりとする。
用紙の大きさは、A3判の用紙とする。

建物名称等	既設給水装置	有・無	水栓番号	口径	メーター番号	付近敷取図 (地図北・南 P)	号
-------	--------	-----	------	----	--------	------------------	---

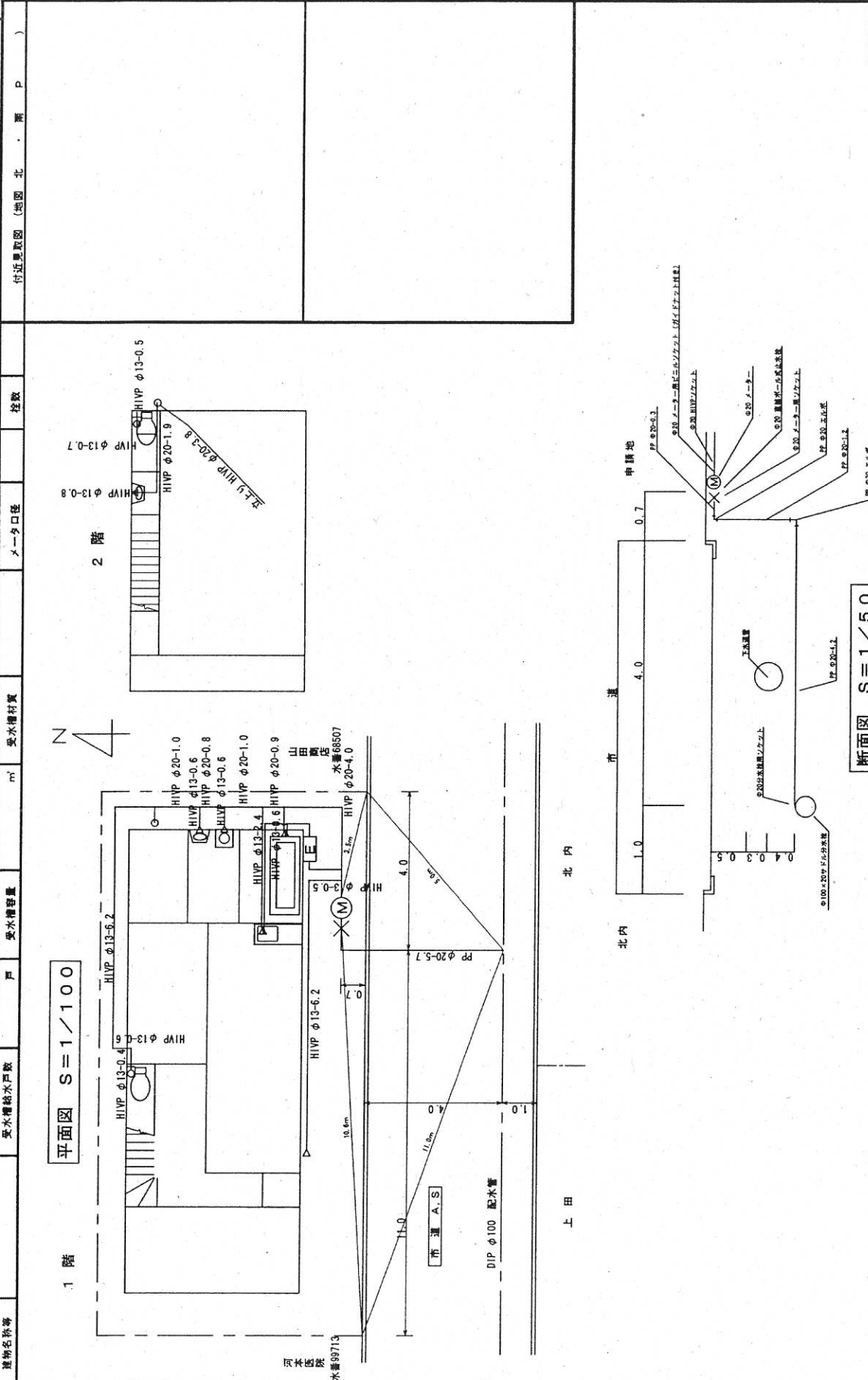


工事場所	申請者	指定給水装置 工事業者	指定給水装置 主任技術者	縮尺	図面番号
------	-----	----------------	-----------------	----	------

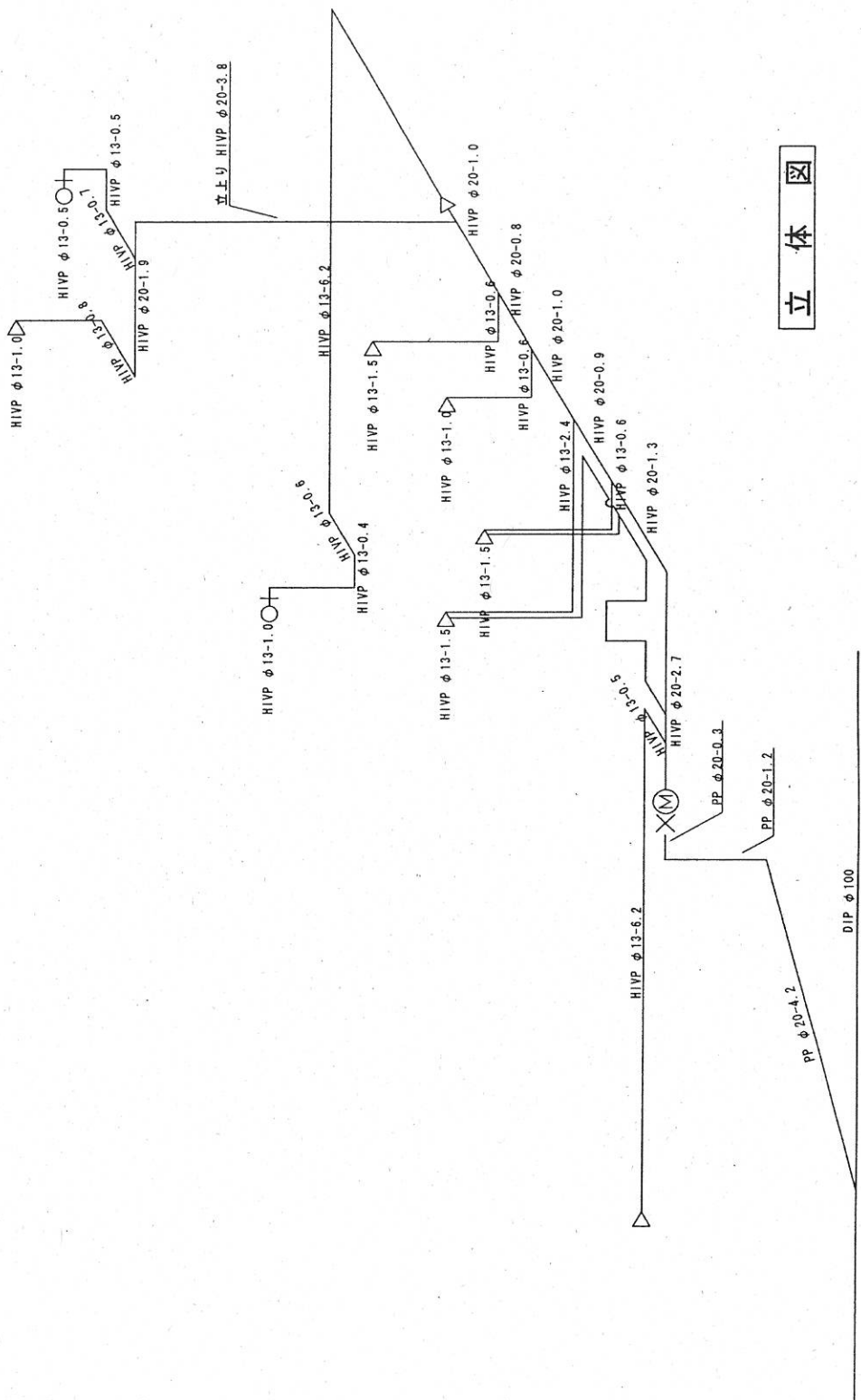


工事場所	申込者	指定給水装置 工事業者	指定給水装置 主任技術者	縮尺	図面番号
				①	—

1 上水 (河東・河西) 2 工水 給水装置工事完成図 (甲) 本管 第 号 水栓 第 号 (号)



工事場所	指定給水装置 工事業者	指定給水装置 主任技術者	縮尺	図面番号
申込者	(印)	(印)	(印)	



立体図

工事場所	申込者	指定給水装置 工事事業番号	指定給水装置 主任技師番号	縮尺	図面番号
				(印)	(印)